



第5章 施設コスト・公債費

第5章 施設コスト・公債費

1 施設類型別コストと修繕費

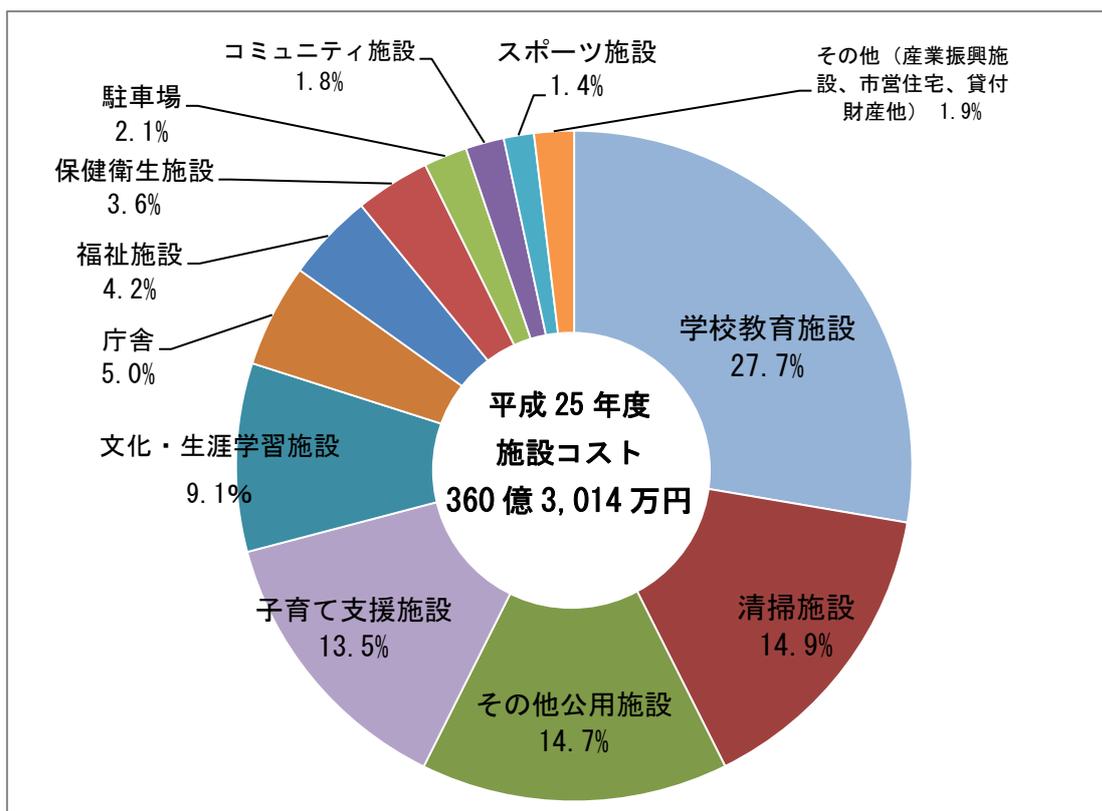
(1) 施設類型別コスト

第4章では、各施設にかかるコストを維持管理コスト¹、事業運営コスト²、職員費、減価償却費の4種類に分けてコストを明らかにしてきました。

第4章で取り上げた、各施設コストの合計を施設類型別の割合で表したものが【図表5-1】です。

平成25年度にかかった施設コストの合計は360億3,014万円となっており、学校教育施設が99億7,856万円で27.7%を占め、次いで清掃施設の53億8,003万円(14.9%)、その他公用施設の53億162万円(14.7%)、子育て支援施設の48億7,908万円(13.5%)、文化・生涯学習施設の32億7,005万円(9.1%)の順になっています。

【図表5-1】施設コストの施設類型別割合



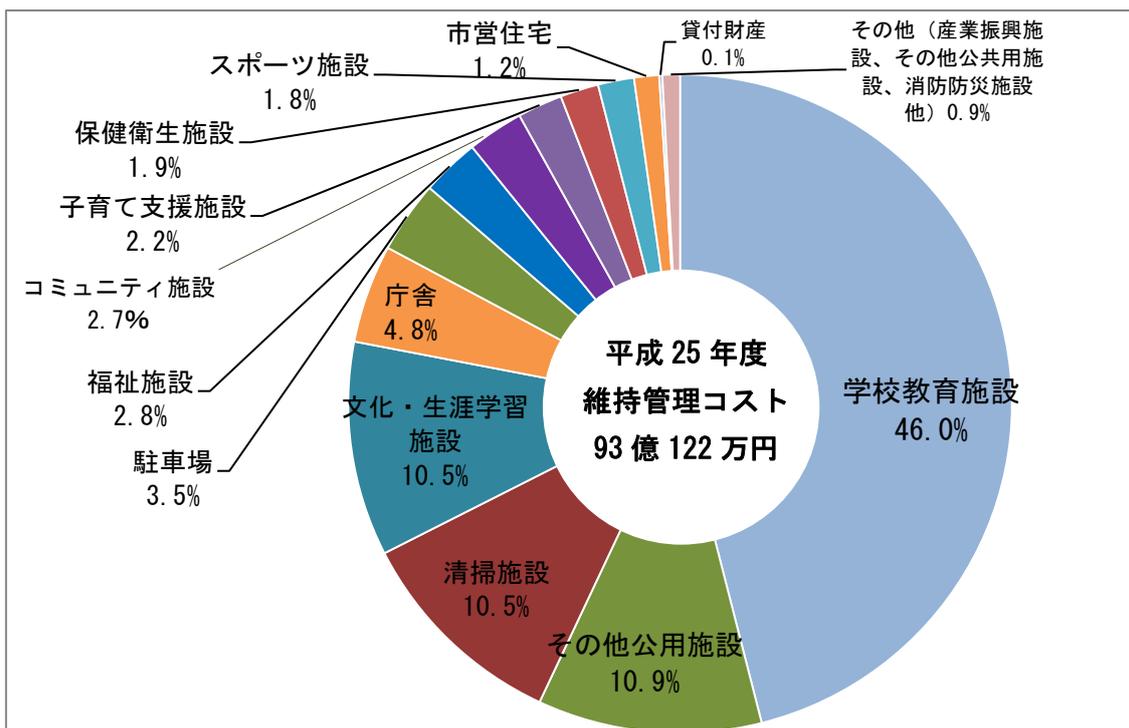
¹ 土地又は建物の借上料、維持補修費、光熱水費、設備点検や施設警備にかかる委託料など、施設を維持管理していくために経常的に必要となる経費

² 施設において実施される事務事業経費

分類	施設コスト (円)	分類	施設コスト (円)	分類	施設コスト (円)
庁舎	1,791,233,115	交通公園	14,485,366	保健衛生施設	1,290,917,677
清掃施設	5,380,029,336	文化・生涯学習施設	3,270,049,531	福祉施設	1,522,524,681
消防・防災施設	31,605,756	コミュニティ施設	662,308,911	駐車場	748,495,101
その他公用施設	5,301,622,785	スポーツ施設	520,013,383	その他公共用施設	51,698,237
学校教育施設	9,978,561,255	子育て支援施設	4,879,077,172	貸付財産	67,423,731
市営住宅	251,220,473	産業振興施設	265,278,363	普通財産	3,591,236
				合計	36,030,136,109

次に、施設コストのうち、維持管理コストの合計額を施設類型別の割合で表したものが【図表 5-2】です。平成 25 年度の維持管理コストの合計は 93 億 122 万円となっており、最も支出が多いのは学校教育施設の 42 億 8,249 万円で、46.0%を占めています。次いでその他公用施設が 10 億 1,558 万円 (10.9%)、清掃施設が 9 億 8,031 万円 (10.5%)、文化・生涯学習施設が 9 億 7,925 万円 (10.5%)、庁舎が 4 億 4,858 万円 (4.8%) の順になっています。

【図表 5-2】維持管理コストの施設類型別割合



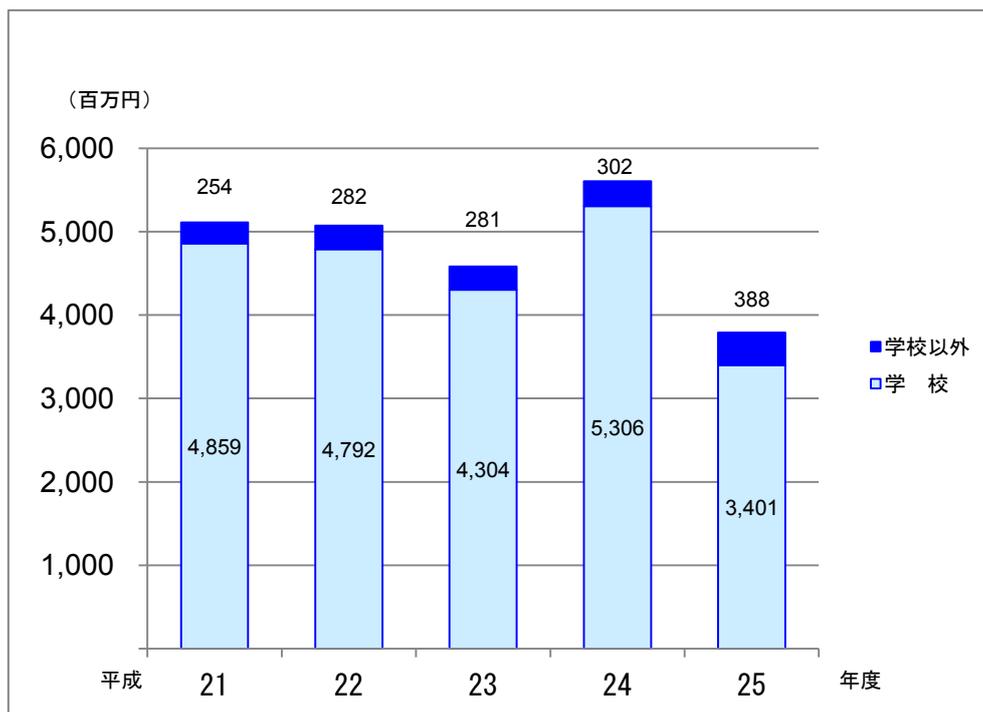
分類	維持管理コスト (円)	分類	維持管理コスト (円)	分類	維持管理コスト (円)
庁舎	448,578,818	交通公園	1,755,647	保健衛生施設	174,313,132
清掃施設	980,305,270	文化・生涯学習施設	979,250,515	福祉施設	264,535,599
消防・防災施設	3,931,305	コミュニティ施設	254,363,832	駐車場	328,055,028
その他公用施設	1,015,583,915	スポーツ施設	163,219,942	その他公共用施設	4,736,626
学校教育施設	4,282,488,934	子育て支援施設	203,752,539	貸付財産	13,782,521
市営住宅	113,414,697	産業振興施設	68,543,271	普通財産	608,895
				合計	9,301,220,486

(2) 過去5年間の修繕費の推移

平成21年度から平成25年度までの5年間で、施設の修繕に要した費用の推移を表したものが【図表5-3】です。

毎年度50億円前後の修繕費が発生しており、その内訳は、学校が大部分を占めています。

【図表5-3】過去5年間の修繕費の推移



単位：千円

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	合計	平均
学校	4,858,607	4,791,972	4,304,395	5,305,541	3,400,522	22,661,038	4,532,208
学校以外	253,896	281,827	280,618	301,980	388,319	1,506,640	301,328
合計	5,112,503	5,073,799	4,585,013	5,607,521	3,788,841	24,167,678	4,833,536

2 公債費・市債残高の推移

(1) 公債費の推移

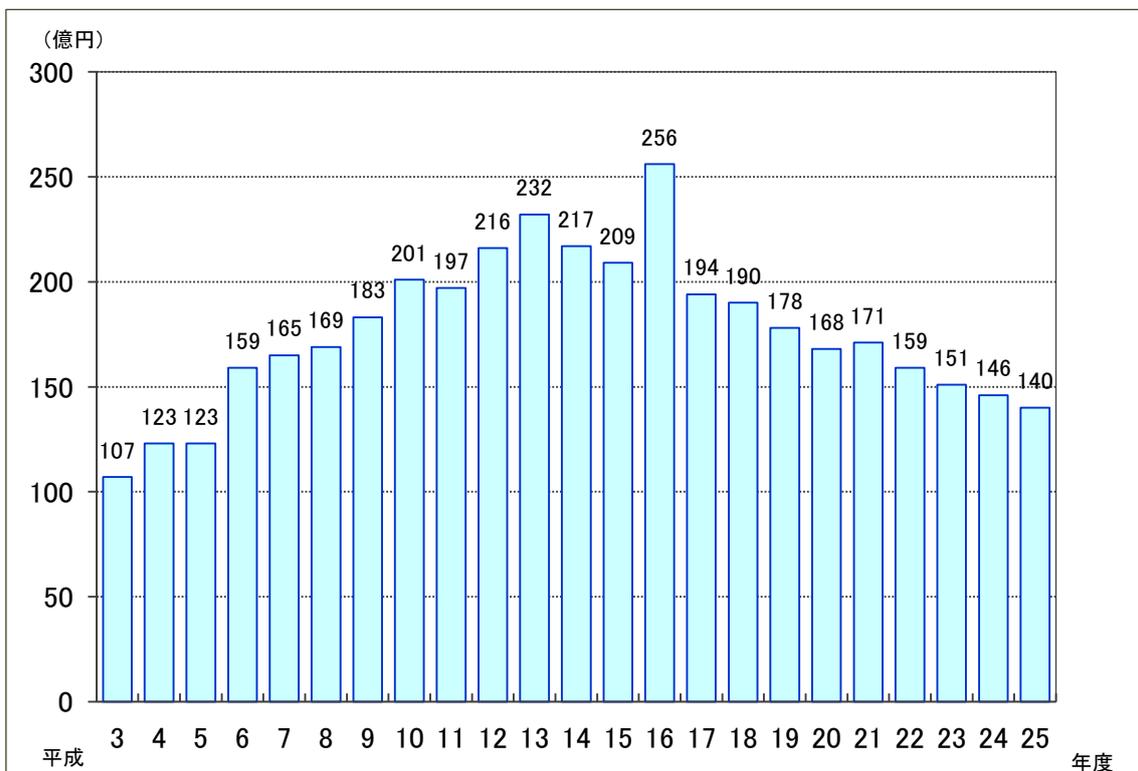
ア 公債費の推移

施設建設にかかる一時的経費を賄うために市債（長期にわたる借入金）を発行し、後年度にその元金及び利子を償還しますが、その償還にかかる経費を公債費といいます。

平成3年度以降の公債費の推移は、【図表5-4】のとおりです。

平成13年2月に策定した「財政再建推進プラン」に基づき財政再建に取り組んできたことがわかります。平成3年度から平成13年度までの普通会計における公債費の推移は上昇傾向にありましたが、平成13年度に232億円を償還し、翌14年度からは減少に転じました。平成16年度は過去に借入れた減税補填債を一括償還した影響により、償還額が256億円に増加しましたが、その後は減少傾向にあり、平成25年度は140億円を償還しています。

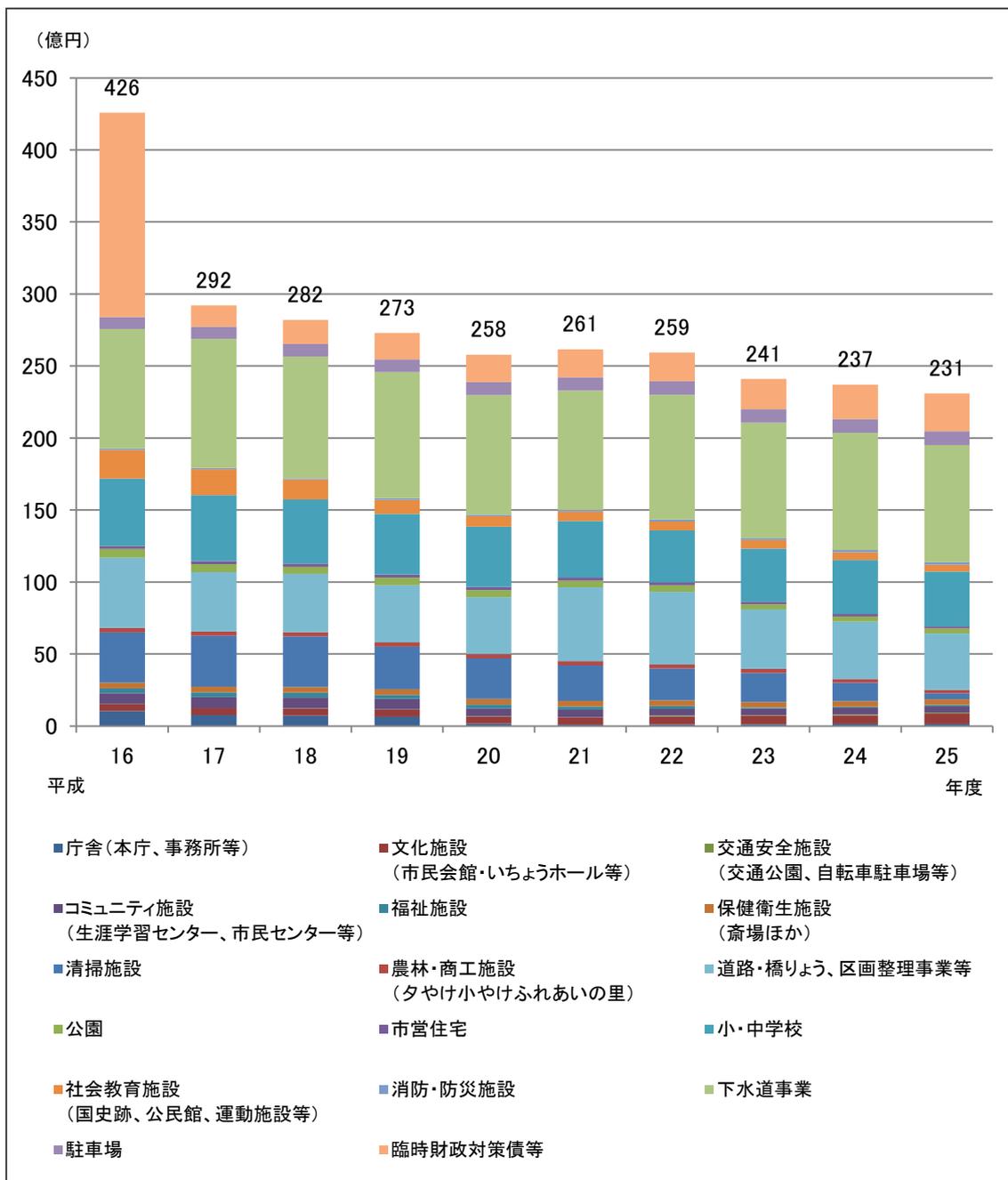
【図表5-4】 公債費の推移（普通会計）



イ 目的別公債費の推移

全会計における公債費のうち、平成16年度以降の10年間について目的別の推移を表したものが【図表5-5】です。

【図表5-5】目的別公債費の推移（全会計）（平成16～25年度）

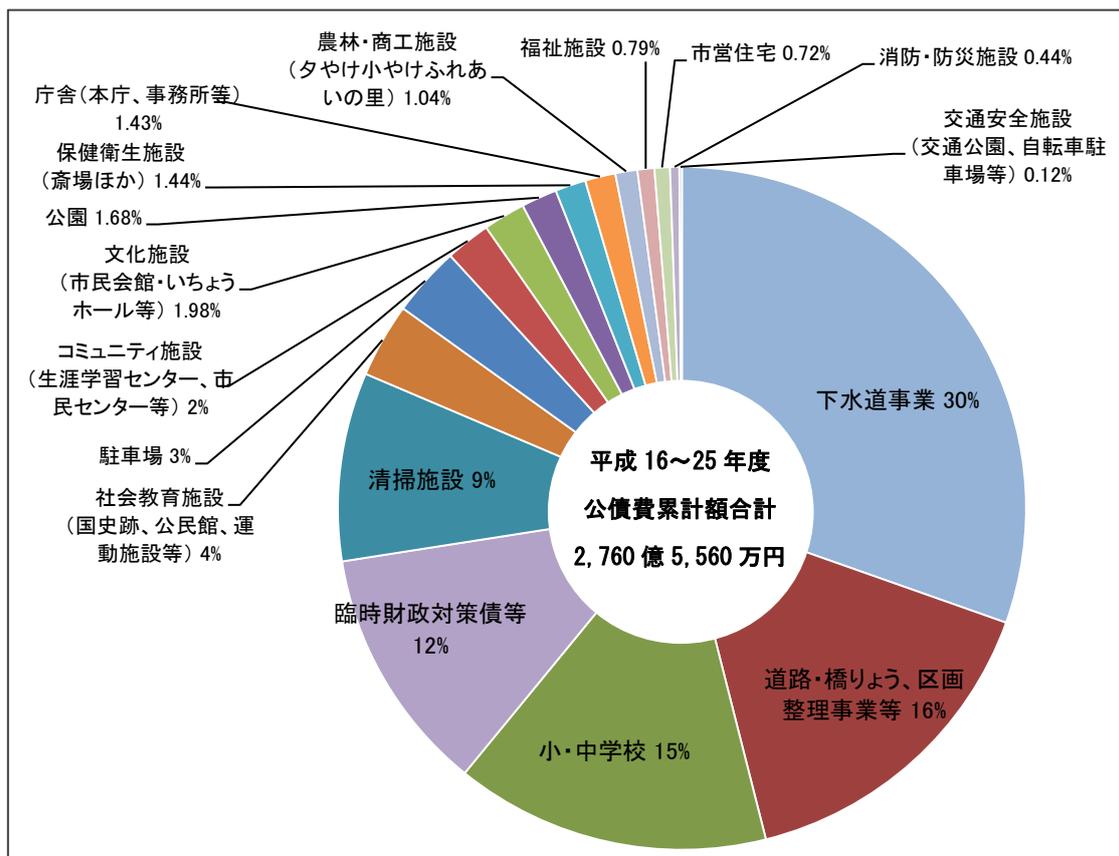


ウ 公債費の目的別内訳

平成 16 年度から平成 25 年度までの過去 10 年間の公債費累計額 2,761 億円を目的別に表したものが【図表 5-6】です。

下水道事業に係る公債費が 840 億円と最も大きく、次いで道路・橋りょうや区画整理事業などの 432 億円、小・中学校の 409 億円の順となっています。

【図表 5-6】公債費の目的別内訳（全会計）（平成 16～25 年度）



区 分	公債費累計額 (円)	区 分	公債費累計額 (円)
庁舎 (本庁、事務所等)	3,939,155,944	公園	4,638,895,200
文化施設 (市民会館・いちようホール等)	5,457,687,690	市営住宅	1,998,840,061
交通安全施設 (交通公園、自転車駐車場等)	323,517,156	小・中学校	40,863,778,074
コミュニティ施設 (生涯学習センター、市民センター等)	5,845,597,935	社会教育施設 (国史跡、公民館、運動施設等)	9,707,193,182
福祉施設	2,187,939,358	消防・防災施設	1,201,311,890
保健衛生施設 (斎場ほか)	3,979,258,194	下水道事業	84,021,272,733
清掃施設	24,646,194,629	駐車場	9,093,798,778
農林・商工施設 (タヤけ小やけふれあいの里)	2,861,566,742	臨時財政対策債等	32,124,742,439
道路・橋りょう、区画整理事業等	43,164,854,625	合 計	276,055,604,630

(2) 市債残高の推移

平成 16 年度からの市債残高の推移を表したのが、【図表 5-7】です。平成 16 年度末に 2,808 億円あった市債の残高は、平成 25 年度末に 2,181 億円となっています。

平成 16 年度以降も市民会館（オリンパスホール八王子）などの大規模な文化・生涯学習施設等の建物を建築していますが、平成 16 年度末から 627 億円減少させています。これは、大幅な市税収入増が見込めない一方で、扶助費が年々増加している中、長期的な視野に立って財政の健全性を維持するため、市債について「返す以上に借りない」方針のもとに財政運営を行ったためです。

また、施設整備に当たり、既存施設の活用や複合化を図るなど、建設コストを抑えてきたことも減少要因の一つとなっています（P3、【図表 1-2】参照）。

【図表 5-7】市債残高の推移（全会計）（平成 16～25 年度）

